

# 空間・環境デザイン工学専修

## 基本理念と学問分野

空間・環境デザイン工学専修では、自然環境に人工空間・環境をデザインするための工学の教育研究を行う。

そのための基礎となる教育研究分野は、都市・建築工学、交通・土木工学、宇宙・機械工学、ロボット工学、環境工学、エネルギー工学、情報・通信工学などの分野である。これらの分野のイントロダクションとなる講義群は、主にシステムデザイン工学科において提供されている。

これらの分野に基づく空間・環境システムデザインにおいては、その複雑化と大規模化に対応するために諸分野間のダイナミックなインタラクションを探求しながら有機的に統合するための計算能力およびシミュレーション技術が必要である。また、空間・環境システムデザインによって創造される人工空間・環境は、自然環境と調和したものでなくてはならない。さらに、そのシステムは美しくかつ十分に考えられたデザインにより具現化される必要がある。

空間・環境デザイン工学専修の研究教育の理念は、現象の分析、有機的な分野統合、環境との調和、美しく合理的なデザイン、これら全ての視点と実装能力をもつ人材を育成することである。

空間・環境デザイン工学専修は、空間・環境システムをデザインする基盤科学技術を確立し、その上に新しい空間・環境システムを創発することを目的とした教育研究を推進する。